

## 特別寄稿

# 農政や畜産の夢を手堅い政策で着実に実行

参議院議員 加藤 武 徳

この文章は故三木知事が死去される前に書かれたものです。

### 政治が夢を与える

農政や畜産にも色々な夢があるが、書くは易くしてその実現は極めてむづかしく、理想や計画通りに農業政策や畜産対策が運んでいたら今日の農家や酪農家の苦難はなかったとも言えよう。しかし私達は夢を否定するものでもとよりなく、農家や農民の夢を与えるのも政治であり、夢を夢に終らしめず現実のものたらしめることこそ政治家の真の義務であると思っている。夢は画くは易いといっても一挙に画けるものではなく、その実現は一朝一夕になし遂げられるものでもない。まして政府与党の立場に立つ政治家にとっては、今日画いた夢は明日これを現実たらしめる責務を負うものである。

### かく農政を進める

農業の生産性をたかめ、農家の所得をふやして暮らしを楽しみ、畜産についていかなる政策を推し進めればよいかも、前に述べた例外である筈がなく、畜産政策の基本的考え方を実現するための、きめのこまかい政策を1つ1つ積み重ねていく以外にその方途はないと思われる。農業は元来あまり成長率の高い産業ではなく、所得倍増計画では、国の経済全体としては毎年平均 7.2%ずつ伸びることになっているのに、農業のそれは 3.5%程度であることがはじめからわかっていた。農業政策の方向としては、農業生産のあり方を改善して生産性を高めること（農業の構造改善）、需要の増えていく農産物の生産をますます増やしていくこと（選択的拡大）、農産物の価格の変動をできるだけ小さくして、農家や都市生活者の家計に不安を与えないようにすること（農産物の価格安定）、この3つを農業政策の重要な柱として、農業生産を伸ばし、農家所得をふやす努力を重ねてきた。にも拘らず今日の農業の実態は格差が益々ひ

どくなり、かくては国の均衡のとれた発展と農民の福祉は到底期待しえないし、農家は次第に夢を失い、農業に対する情熱をなくしてしまう。

そこで先般の国会に於ても農業構造改善事業を中核とした近代化を進め、農業機械化に力を入れ、奥地山村振興法を作って山村を振興し、飼料対策等に力を入れて畜産を振興するなど、農業の所得をふやす政策を強力に進めたし、林業基本法も制定し、肥料価格安定臨時措置法も制定する等の措置をとり、農産物の価格安定とその引き上げにつとめ、麦作にも力を入れ、ことに農家所得の 64%を占める米の価格は相当大巾に引上げることが必要であって、ようやく 1 俵 6 千円の線に持ち込むことができた。

しかし乳価に関しては期待に添う結果にはなっておらない。しかし学校給食に使用される粉乳を逐次生乳に切りかえる問題については明るい見通しがつき、学童の栄養見地からも、乳価の安定をはかるうえからも、生乳をできるだけ多く使用することが望ましいことは申すまでもないことであって、将来学校給食の牛乳を可能なかぎり生乳に切りかえることを目標として、本年度はさしあたり 40 万石の生乳を学校給食に使用することとし、これに伴って国の補助単価も 1 合 3 円 70 銭から 4 円 50 銭に引き上げるようになった。

畜産振興の基礎となる飼料自給度の向上をはかるため、草地改良事業を計画的に推進することとし、大規模事業については 1 千 4 ヘクタール、小規模事業は 2 万 1 千 57 ヘクタール、湿地牧草事業については 5 千 5 百ヘクタールと、いずれも昨年より大巾な事業を行うことになり、補助率及び事業費単価を引き上げて助成内容が充実され、また農業構造改善事業において小規模草地改良を約 5 千ヘクタール 5 億円近くの事業として予定されている。

### 基盤から振興を図る

乳用牛の飼料自給度は現在約 51%に過ぎないので、

## 岡山畜産便り 1964.09

今度3ヵ年に70%に向上させるのが私達の当面の目途であり、早急に飼料作物の強化作付を行う方策として今年度は1万8千ヘクタールの既耕地に飼料作物の作付を行い、トラクター等これに必要な機械の助成を行う。また飼料作物の生産性の向上をはかるため新たに県や市町村が管理する草地における飼料作物の効率的利用を促進するため管理用施設の設置を助成することになった。

このほか草地改良事業の円滑な実施を図るため草地造成用機械に導入を助成し、草地改良事業の積極的推進に資するため草地造成管理指導を担当する県の職員をふやし、飼料作物種子の供給を確保し、畜産物の増産確保と生産性向上を図るため寒冷地農家には県有家畜貸付事業、肉用素畜導入事業等に対する助成を強化されました。

畜産農家の振興と生産性の向上をはかるためには政府関係金融機関が力を入れるのは当然で、農林漁業金融公庫は40億円の融資枠を予定しており、また肉牛の積極的な改良増産を図るため黒毛和牛につき改良基地及び増殖基地を設置するほか、新たに褐毛和牛についてもその主要生産県に優良種雄牛の改良基地を設置して、国・県・民間を通ずる改良体制を確立するとともに、これに対応して繁殖慣行が低く草資源の豊富な地帯には増殖基地を設け、雌牛の飼育管理の指導、共同利用施設の設置等についても助成を行って肉牛の増産を行っています。

さらに今年度も前年度に引続き優良な乳用種雄牛の確保と利用を促進するため、保証乳用種雄牛制度として、県人工授精メインステーションに繁養する種雄牛について性能調査を実施するほか、新たに乳用種雄牛の精液の利用効率の増大をはかるため、最近確立された新技術による凍結精液の利用組織の確立のための器具設置を助成することになりました。

また経済性の高い鶏の育種および普及を促進するため新たに県種鶏場に後代検定施設を設けることにし、国が育成配布したひなの適地性能力検定を行って優良系統の選抜と普及を図ることになりました。家畜衛生対策については家畜伝染病予防を強化するとともに、環境衛生、集団衛生の普及指導を行なうため集団衛生模範地域を作っており、法定伝染病であるひなの白痢病につき養鶏業者が自主的で自衛検

査を行なって防疫の効率化をはかることが必要になってきます。

## 共に堅実な歩みを

いかなる政策についてもそうであるが、ことに農業政策や酪農政策については、ものをせっかちに進めても直ちに破天荒な効果があがるものではなく、真摯な農民の姿そのままの如く、ねばり強く堅実な歩みが必要である。農業構造の改善が一挙に成し遂げられる筈がなく、日本の農村が一夜にしていい明を迎えうらと思うのは間違いであるが、然し、政治家の責務は農業政策の方向をあやまることなく、その方向へ1歩1歩ねばり強く進み、たとえ小さい石ではあっても1つ1つ積み重ねる誠意と努力が必要であると思う。私達は先般、岡山県1区選出の小枝代議士達とともに自民党内に農政刷新懇談会を作り、私もそのメンバーに加わって農政についての真面目にして着実な勉強を通じてあやまりなき農政の方向を見出し、その政策を実現するため堅実な努力を重ねることを期している次第、何卒皆様の変らざる御指導と御鞭撻をお願い申し上げる次第です。